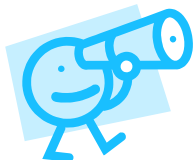


調査事例紹介：その37 千里ニュータウンと女性が主人公の小説



豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。

そのうちの一部をご紹介します。

Q. 千里ニュータウンにある新千里北町の共同住宅のうち、入居の早かったのはどこかを知りたい。また、開設当時の賃貸住宅の家賃がわかる資料はないか。

A. 千里ニュータウン建設にあたりⅠ住区とされたエリアが現在の新千里北町にあたり、豊中市域の千里ニュータウン入居のはじまりであった。大阪府営住宅（公営住宅）の入居が昭和41年（1966年）4月1日に、また日本住宅公団による公団住宅の入居が同年7月13日から開始された。千里ニュータウン開設当時の大阪府営住宅と大阪府住宅供給公社、日本住宅公団による賃貸住宅の家賃は、『新修豊中市史』第9巻 集落・都市（豊中市）に掲載されている。

Q. プライドが高くて頑固で若い女性が出てくる小説を読みたい。日本のもので、主人公の年齢は20代以降で希望。

A. 以下の本をご紹介します。『肩越しの恋人』唯川恵著（集英社）、『春琴抄』谷崎潤一郎著（新潮社）、『僕のととてもわがままな奥さん』銀色夏生著（幻冬舎）、『クローバー』島本理生著（角川書店）、『少女A』新堂冬樹著（祥伝社）、『プラナリア』山本文緒著（文藝春秋）。また参考として、山本文緒さんの小説の解説が載っている『山本文緒 現代女性作家読本 19』（鼎書房）もご案内した。

これらの事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「レファレンス事例をさがす」のページから、フリーワード「千里ニュータウン」、「小説」で検索してみてください。